

学校関係者評価 新居浜市立泉川中学校

1 学校関係者評議委員

- ・ 今西 光昭 氏 (学校運営協議会会長)
- ・ 高橋 美鈴 氏 (学校運営協議会副会長)
- ・ 真鍋 智明 氏 (学校運営協議会委員)
- ・ 秦 典生 氏 (学校運営協議会委員)
- ・ 石川 武博 氏 (学校運営協議会委員)
- ・ 原 寿也 氏 (学校運営協議会委員)
- ・ 梶本 香織 氏 (学校運営協議会委員)
- ・ 山中 俊子 氏 (学校運営協議会委員)
- ・ 太田 初 氏 (学校運営協議会委員)
- ・ 柴田 雅昭 氏 (学校運営協議会委員)
- ・ 西本 吉宏 氏 (学校運営協議会委員)
- ・ 宮崎 達也 氏 (学校運営協議会委員)
- ・ 篠崎 孝 氏 (学校運営協議会委員)
- ・ 藤澤 俊洋 氏 (学校運営協議会委員)

2 学校関係者評価結果 (令和元年1月24日実施)

(1) 学校からの報告

ア 成 果

ほとんどの項目で3ポイント以上の評価が得られている。コミュニティ・スクール3年目を迎え、学校、家庭、地域が連携して教育を行う成果が表れていると考える。昨年度まで地域と協働する活動を模索し、行事の見直しや新たな取組にチャレンジし、コミュニティ・スクールとしての地盤づくりに励んできた。本年度は今後の活動がより充実したものとなるように、活動の後の振り返りに意識を置いた。それにより、より効率のよい分担や活動の流れ、連携の在り方などが浮き彫りとなり、今後の活動への見通しをもつことができた。生徒も地域の方の見守りや応援があることに対する感謝の気持ちが芽生え、中学生として地域に何ができるのかを考える姿勢が目立ち始めた。それにより、生徒会活動や地域ボランティアへの参加の意識が高まってきており、学校全体に活気が感じられるようになった。

- ・ 保護者の結果を見ると、「生徒は充実した学校生活を送れている」「生徒会活動や学校行事は、充実している」の項目のポイントが高い。このことから、運動会や文化発表会などの行事を通して、生徒の活躍や活動の成果を評価していただいていると感じた。また、帰宅後の会話の中にも充実感を感じ取ってくださっている保護者の方もいるのかもしれない。
- ・ 教職員の結果では、「生徒の学力は向上している」で0.4ポイント向上している。教職員の意見の中に、「授業態度は明らかに向上している。「聞くこと」ができるのは学力向上に繋がっている。」という意見も見られた。
- ・ 生徒の回答もほとんどの項目で昨年度よりポイントが上がるか現状維持を示している。学校や地域とよりよい関係の中で生徒が充実した生活を送れているのだと感じる。しかし、現状に満足することなく、一人一人の生徒の可能性を伸ばせるように今後も支援していかねばなら

らないとも考えている。

イ 課題

ほとんどの項目で前年よりもポイントがアップするか、変わらずに高い状態であるものの、にはダウンしている項目もあり、再検討していきたい。

- ・ 「生徒の学力は向上している」については、生徒・教職員の平均は3.0を超え、肯定的な回答が多かったが、保護者の平均は2.7と昨年と同様である。また、「人の生き方や将来の夢・希望について、しっかり考える機会や場を設ける努力をしている」において、保護者の平均は0.1ポイント下がっている。社会の変化が著しくなる昨今、生徒自身が将来を見据え、生きる力としての学力を身に付けてほしいという保護者の願いが結果に表れているものとする。キャリア教育や道徳教育を充実させ、社会人として未来を生き抜く人間性の育成に努めるとともに、生きる力に直結した学力の向上を図るため、今後も授業改善に取り組んでいきたい。
- ・ 教職員の「生徒は目標を持って学校生活を送っている」の平均点が下がっている。これは、目標を立てさせているものの、振り返りがしっかりできていなかったり、将来をしっかりと見据えた目標になっていなかったりといった反省が反映されていると考える。地域や保護者の希望に応えるためにも、生徒自身に将来のビジョンをもたせ、そこに近づくための目標設定と振り返りを繰り返す習慣を身に付けさせたい。

(2) 意見・感想

ア 学校を訪問したときに、生徒たちから「こんにちは」という元気な挨拶をされ、明るく素直な子どもが育っていると感じる。勉強はもちろんのこと、部活やボランティア活動、専門委員会にも大変熱心に取り組んでいることが、学力向上にもつながるのではないと思う。今回の学校評価では、学力の向上が見受けられ、これまでの成果が出たのではないと思う。ただ、保護者の側から見ると、子どもへの期待感の強さからか評価は厳しい。しっかりと議論しながら対応をしていく必要がある。

イ 中学生になると、体の成長、心の成長がとても早く感じる。友だちを大切にすることを覚えたり、友だちの意見に影響をされたりするのもこの時期なので、子どもの変化を敏感に感じ、保護者と連携を取りながら指導をしてもらいたい。

ウ 子どもたちに寄り添う先生が多く、生徒が成長していると感じる。コミュニティ・スクールが少しでも学校や生徒の成長に役立っているならうれしい。アンケートに学校に来られていない生徒や保護者の意見が入っているのかわからないが、学校で楽しく過ごせていない生徒がいることも忘れてはいけない。学校、家庭、地域の問題として考えなければならない。

エ 学校評価の数値にコミュニティ・スクールとして取り組んできた成果が表れていると感じる。教職員、保護者、地域の方々が生徒のことを第一に考えている結果だと思う。数字の上では昨年度より低下している点もあるようだが、今までのようにみんなで支援・協力していきたいと思う。

オ どの項目も評価点が高く、教職員の努力を感じる。ただ、保護者の意見・感想に、生徒の様子に学校と家庭で隔たりがあったり、先生の指導に不満を感じていたりする内容が書かれていた。そういった意見も真摯に受け止め、今後に活かしてもらいたい。